



## **AXS Work Style Smartification Project**

# 1. ワークスタイル多様化への対応

## 時代背景

グローバル社会の進展と ICT 技術の進歩、そしてマルチスマートデバイスの急速な普及に伴い、建築設計事務所においても「多様な働き方」、すなわち最新技術を活用した、時間と場所にとらわれない柔軟な働き方が求められています。

さらに、ワークライフバランスの適正化を図りつつ、業務効率・生産性の向上とともに少子高齢化、地域活性化などの課題解決も重要になってきています。

## AXS スマート化

このような多様化の時代にあって、創立 70 周年を迎える私たち佐藤総合計画 (AXS) は、所員の意識構造を改革するために、働き方を見直すことを考えました。その実現のために、新たな執務環境のあるべき姿を全員で議論し、デザイン事務所らしいスマートなワークスタイルとワークプレイスの実現を目指す、ボトムアップ型の社内活動が「AXS スマート化」です。

## 2. Concept

### 一体感のある働く場づくり

これからの“つながる”をきちんと考える

Face to Faceでなくても仕事ができる、  
そんな時代だからこそ「空間・場」の持つ意味を  
建築設計事務所として考えたい。

私たちの仕事は単に「作業の場」だけでなく、  
むしろ多様な要望に応えるための  
「知恵を出し合う場」を必要としています。

だから、  
AXSとして一体感が感じられる  
新たな働く場づくりが重要であると考えます。

### 1. AXS Corporate Culture

AXS の企業文化を発信する

### 2. Work Diversity

多様性のあるワークプレイスづくり

### 3. Flexibility & Extensibility

自由度と拡張性に優れた環境整備

### 4. Multi Smart Device ICT

快適な ICT 環境の導入

### 5. Opportunities for Communication

多様なコミュニケーションの機会づくり

### 3. Conceptをかたちにする

- ・ 新たな決定プロセスへの挑戦と意識改革  
“やればできる” “自分の意見が実現する”

Conceptをかたちにしていくため、ワークショップで所員全員と意見交換する場を設け、ボトムアップで決定していくNew AXS Styleを実践することで、所員の意識改革を促す。

- ・ 一体感のある働く場づくり

建物中央の「コミュニケーションボイド」を見直し、各階の空間をつなぐことにより、所員同士もつなぎ、より多彩なコミュニケーションが生まれる働く場づくりを実現。

- ・ 自由度と拡張性のあるワークスペース

レイアウトをワークスペース全体が俯瞰できる直線的なデスク配置とすることで、自由度と拡張性のあるワークスペースづくりを実現。

- ・ ペーパーレスから生まれる  
新たなワークスタイル

ワークスタイルの変革は先ずはペーパーレスから開始。そのために、現状調査からペーパーレスのルールづくり、アンケートや外部コンサルタントによる徹底的な収納量削減指導によりペーパーレスを始動。

- ・ ICT活用による多様なワークスタイル

テレワーク、フリーアドレスなど外出先からでもアクセスできるICTによる効率的でフレキシブルワークスタイルの実現。